



宮城県村田高等学校

心温まる地域連携活動

参加者累計 1, 111名

教員清掃ボランティア



清掃ボランティア



さくらマリンボランティア



活動をとおして、「自分の住んでいる町、通学している町をきれいにし、町を知ることができて嬉しい」との思いが生徒たちのボランティア精神の向上につながっているようです。

村田高校生がボランティア活動

村田高校では、今年度も生徒たちが「地域のために役立ちたい。人のためになにかをしたい。」という思いから、JRCのボランティア活動として、地域の清掃活動を行っています。



被災地へ支援募る
九州北部豪雨の被災者を支援するため、村田高のJRC(青少年赤十字)に所属する生徒が、校内で募金活動を行った写真。朝や授業後、各クラスで協力を呼び掛けた。集まった義援金は町社会福祉協議会を通じて被災地に送る。2年日吉ありさん(左)は「被害に遭った人たちに助けたい。東日本大震災の恩返しをしたいという思いもある」と話した。



【平成29年度「パソコン講習会」を開催しました！】
先日、村田高等学校を会場に成人教育事業「パソコン講習会」を開催しました。村田高等学校の先生方を講師にお迎えし、文字入力やWordの基本的な使い方など、パソコン操作の基礎について楽しく学習しました。また、生徒の皆さんにも指導補助としてご協力いただき、世代間の交流を深めることもできました。
参加した受講者は、初めは慣れない手づみでパソコンを操作していましたが、最終日には学習の成果として思いの届く見聞を作成し、「とても楽しく学びたい」とも嬉しい時間を過ごすことができたなどの感想が寄せられ、充実した学習の場となりました。
問合せ 生産学習課



白菜大きく育てて
村田小・高、種まき交流
村田高で22日、生徒と村田小の児童計約20人が両校の交流を深めようと白菜の種まきをした。
昇降口前の広場に育苗トレイを並べ、参加者は「土の種を大きく成長させることを願いながら、じょうろで水をまいた。」
村田小4年三浦優人君(10)は「じやがむのがつらかった」と作業の大変さをかみしめ、同4年升清平君(9)は「みんな楽しんで作業できて良かった」と振り返った。
育ちるのは1964年の東京五輪にちなんで発表された品種「オリンピック」。

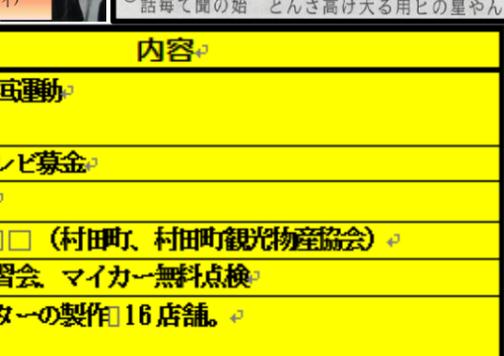
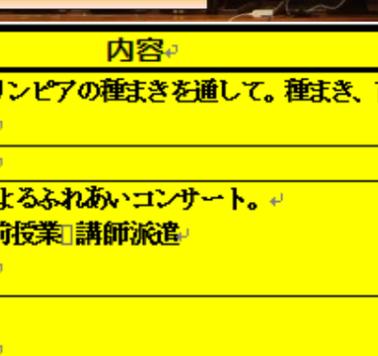
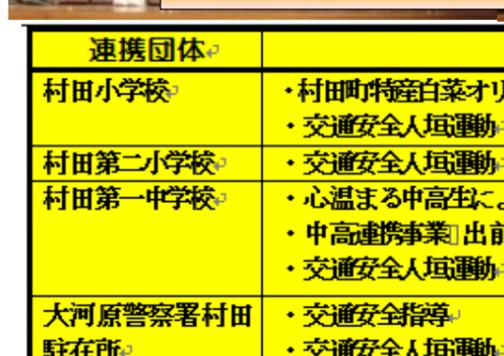
河北新報 H29. 11. 4
ナシで無事故訴え 村田
村田町の小中学生と高校生らが、町役場前でドライバリーに安全運転を呼び掛けるキャンペーンを実施した。
村田小の児童、村田一中と村田高の生徒、住民ら計約100人が「シートベルトを締めましょう」「スピードは控えめに」などと書かれたパネルを掲げ、「事故なしを願って運転手にナシを配った」写真。小中学生は高校生から助言を受けながら、ドライバリーに「安全運転をお願いします」と積極的に声を掛け(10月19日)



同五輪で町出身の三宅義信さんが重量挙げで金メダルを獲得したことに敬意を表し、14年度に小・高連携の1環として始めた。
協力して種に水をまく高校生と小学生



中高生施設で演奏
村田町の村田高と村田一中の両吹奏楽部が、町内の介護老人保健施設あいやまで演奏会を開いた。写真
部員計20人が坂本九さんの「上を向いて歩こう」や「一見上げてごらん夜の星を」宇多田ヒカルさんの「花を君に」といったヒット曲を披露。施設の利用者ら約40人は演奏が終わるたびに拍手をしたり、「大好きな曲だ」と声を掛けたりした。演奏した村田高2年の藤原海海(あみ)さん(17)は「少しだけでも楽しんでもらえたらうれしい」と笑顔を見せた。
演奏会は2014年に始まり、3回目。あいやまの阿部芳徳施設長(55)は「聞く阿部先生は曲ばかり演奏してもらえるので、利用者は毎年楽しみにしている」と話した。



連携団体	内容	連携団体	内容
村田小学校	・村田町特産白菜オリンピックの種まきを通して。種まき、苗植、収穫。 ・交通安全人垣運動	村田高校PTA役員	・交通安全人垣運動
村田第二小学校	・交通安全人垣運動	社会福祉協議会	・24時間テレビ募金
村田第一中学校	・心温まる中高生によるふれあいコンサート。 ・中高連携事業「出前授業」講師派遣 ・交通安全人垣運動	NPO法人むらた蔵わらし	・蔵の陶器市
大河原警察署村田駐在所	・交通安全指導 ・交通安全人垣運動	村田町布袋まつり保存会	・布袋まつり(村田町、村田町観光物産協会)
		村田町中央公民館	・パソコン講習会 マイカー無料点検
		村田町商工会	・商店街ポスターの製作16店舗

宮城県 志教育フォーラム 村田地区小中高発表

志教育フォーラム 中学生との活動

陶器市ボランティア